

東アジア美食・文化・観光 国際フォーラム 2018

フォーラムテーマ「伝統料理(郷土料理)とツーリズム」

本フォーラムは、日本・韓国・中国の3ヶ国を中心とした東アジア地域のガストロノミー(美食)、カルチャーとツーリズムを通じた交流と活性化を目的として発足。

観光・食文化・外食の研究者、教育者、経営者のエキスパートと美食家が参集し、東アジアの繁栄に寄与することを目標として、

第1回は2017年7月1日にソウルで開催され、第2回をこのたび大阪で開催いたします。



昨年、ソウルで開催された「第1回東アジア美食文化観光フォーラム2017」のようす

2018年

8月17日(金)

フォーラム：13:30～17:45
参加料 1,000円(学生500円)

交流会：18:30～20:00
会費 4,000円

- 定員：120名(内、韓国・中国からの参加者30名を含む)
- 会場：大阪府立大学I-siteなんば2階 カンファレンスルーム(大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル)

《プログラム》

●基調講演

「WASHOKUとインバウンド戦略—美食都市をめざして」

片岡 究氏(オイシージャパン株式会社代表取締役)・インバウンド フードプロデューサー

《プロフィール》

幼少時より海外へ強い関心を持ち、手に職をつけ世界を廻るため飲食業界へ。(調理師免許保持)様々な店舗にて調理、店舗運営、マーケティング企画・開発責任者を経験しながらアジアを中心にバックパッカーとして旅をする。2007年、撤退寸前の飲食店舗を再建すべく、インバウンド誘致と現場改革に関わり、僅か1年で前年比売上最大400%UPを実現。2011年株式会社インターアジア設立。飲食店様向けインバウンド誘致サポートサービス【Oicee!! Japan～美味しい日本～】を通じ独自のマーケティング・現場プロデュースを実施。売上を急増する店舗が続出している。集客数は年間20万人を突破。現在では、訪日観光客をあたたく受け入れられる店舗を日本全国に増やすため、教育事業にも積極的に取り組んでいる。

公式サイト：<http://www.oicee.jp>



●研究発表

- (1) 村上喜郁氏(追手門学院大学経営学部 准教授)「伝統料理とインバウンド」
- (2) 張・ジョン氏(祥明大学 博士課程)「フードスタイリングの視覚的効果」
- (3) 李 苗苗氏(韓国忠北大学 博士課程)「中国の食文化と八大料理」

●シンポジウム

「伝統料理とインバウンド振興」

モデレーター・中村忠司氏(大阪観光大学 教授)と

志賀茂氏(がんこフードサービス株式会社 副会長)、及び上記発表者によるパネルディスカッション

主催：日本フードツーリズム学会 社団法人韓国美食協会

共催：公立大学法人大阪府立大学 観光産業戦略研究所(開設10周年記念事業) 大阪観光大学 大阪国際フォーラム

協賛：江戸三・大和屋、大東倶楽部、追手門学院大学 北摂総合研究所、高麗貿易株式会社、がんこフードサービス株式会社

美食都市がアジアを変える

「食」は今日、健康、幸福、生きる喜び、つながり、地域経済、観光、持続可能性など多岐にわたってますます重要なテーマとなりました。

また、農業・漁業の生産と料理術の伝統は、

「ガストロノミー」という概念によりグローバルな交流と創造の源泉となりつつあります。

本フォーラムは、ガストロノミー(美食術)に関わる専門家が参集し、交流と相互研鑽を重ねることで、美食・文化・観光を活性化する付加価値の高い美食都市を創造することをねらいとしています。



韓国宮中料理の一つ、クジョルパン(九折板)



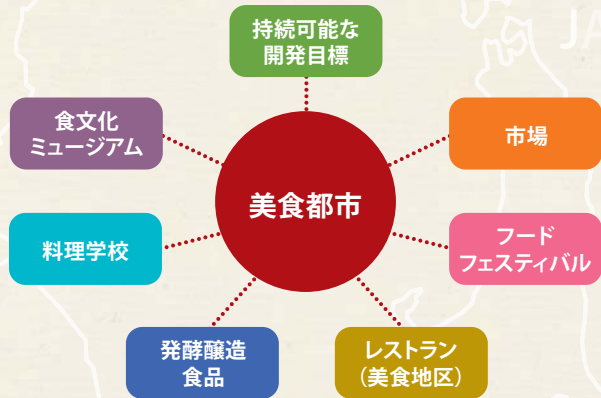
杭州にて

CHINA

JAPAN

美食都市とは

近年、美食都市はユネスコ創造都市ネットワークの一分野として、また、フランスの美食都市ネットワーク国家プロジェクト、スペインの美食首府、EUの美食都市戦略、UNWTO(世界観光機関)のガストロノミーツーリズムなどの施策と実践によって、多くの都市で推進されています。食べ物と食べる事は、私たちの生活の中心的で幅広く共有できる「文化」のひとつです。



シンポジウム終了後に、日韓中の参加者が集う交流会を行います。ぜひ、ご参加ください(事前予約が必要です)。

- 時間 18:30~20:00
- 参加費 4,000円
- 会場 I-siteなんば 2F ホールA

●会場[I-siteなんば]へのアクセス



《お申込み方法》

Eメールで event@foodtourism.jp へお申し込みください。

定員数(90名)になり次第、締め切らせていただきます。

件名を「フォーラム参加申込」とし、氏名、連絡先、所属を明記の上、ご送信ください。交流会への参加を希望される方は、その旨を明記してください。

《お問合せ先》

日本フードツーリズム学会事務局(大阪観光大学内)
jimu@foodtourism.jp